

令和2年度第2回釜石市介護保険運営協議会 議事録

1. 日 時 令和2年12月22日(火)18時00分～
2. 場 所 釜石市保健福祉センター9階 講義室
3. 出席委員 出席委員9人
小泉嘉明委員(会長)、栗澤稔委員(副会長)、石田正子委員、
内田安子委員、大久保孝信委員、久喜眞委員、佐野和子委員、
澤田政男委員、藤原成子委員
4. 欠席委員 欠席委員3人
大槻忍委員、佐々木てる子委員、鈴木勝委員
5. 事務局出席者 保健福祉部 水野由香里部長
高齢介護福祉課 山崎教史課長、二本松由美子主幹、佐々木義友課長補佐
6. 傍聴者 無し
7. 経 過 (1)開会
(2)定足数の確認
(3)会長あいさつ
(4)議事
1)釜石市高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業計画(素案)について
(審議)
2)その他
(5)閉 会

主な発言は以下のとおり

小 泉 議 長 : 「1)釜石市高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業計画(素案)について」事務局から説明をお願いします。

事 務 局 : 「1)釜石市高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業計画(素案)について」を説明。

小 泉 議 長 : ありがとうございます。

栗 澤 委 員 : コロナの関係で、我々老人クラブは健康第一でやっていますが、運動関係で集まることはゼロにしました。最小限のクラブ活動として、定期的な介護予防活動をしています。最近感じているのは、70歳代の一人暮らしが突然怪我をすると誰も見るができないという問題があることです。このような事例が結構あります。一つの例としては、先月怪我をした方がいて、病院で手術をした後、自宅での生活が困難になったということがありました。このような事例が今後多くなることが予想されますが、個人情報の関係で個別の情報収集が難しいことが課題です。

事 務 局 : この計画の中でもあります。今後は専門職だけでは手が届かないということもあり、地域の方から情報提供を受けて、専門機関に繋いでいくことを行いたいと思っています。

栗 澤 委 員 : よろしくをお願いします。

小 泉 議 長 : 民生委員の高齢化もあります。また、一人ひとりの生活パターンが変わっている中で地域の介護力が落ちているように感じます。コロナの状況もあって鬱状態の人も多くなっていると感じています。日本全体では女性の自殺も多くなっている実態もあります。また、高齢の男性は一人暮らしになると数年で元気がなくなる人もいると感じており、そうならないように、70歳代位から介護などの知識や地域との関係性を持つべきだと思います。地域団体や老人クラブと接点を持つべきであると思います。さらに、現在は70歳代でも働いている人も多いので、高齢者であるという意識が少なくなっています。現在、在宅医療連携拠点チームかまいしなどの様々な組織や支援者で色々な人への細かい支援をしています。釜石市は高齢者が多くなっているので、さら

に、介護が必要な高齢者ばかりに支援を手厚くすると、子育て世代などの若い人への支援が薄くなる可能性もあるので、そのバランスも大切だと思います。そのためには、釜石市全体で横の連携を強化して、色々なバックアップする体制を整える必要があります。現在は、少ない職員で個別の対応をしている実情があるため、体制づくりは大切です。また、介護に関するあらゆる情報を市や医療機関だけではなく、地域などの各種団体で共有することも重要です。民生委員の数も増やす必要があります。

栗澤委員：釜石宿泊得得キャンペーンの効果はどのようになっているのですか。

事務局：効果はあると思います。

栗澤委員：釜石宿泊得得キャンペーンで1週間利用するとかなりのメリットがあります。GOTOキャンペーンは岩手県内だけですが、宿泊得得キャンペーンは釜石市だけのものですね。

大久保委員：大槌町の（第7期の）介護保険料はどうなっていますか。

事務局：六千円台となっています。

小泉議長：大槌町は人口が少ないので、対象者の情報をしっかりと把握できることにメリットがあると思います。釜石市は大槌町よりも人口が多いですが、なるべく多くの情報を集める必要があります。認知症についても、認知症なのか老化なのかわからないところもあり、特に90歳を超えるとその把握が難しいところもありますが、そこもみんなで支援する体制を整えないといけないと思います。

事務局：介護状態になることを予防するためには、若い時からの予防が必要です。

小泉議長：若い時からの運動が重要ですね。特に卓球をしている高齢者の方は元気があるように思います。このような情報を団体間で共有していくことが重要です。

事務局：役所の外も中でも情報共有していくことが重要です。そこはエネルギーがいることでもあります。

小泉議長：情報を共有して、良いことを上手くコーディネートしてやっていくことが良いと思います。新しいことをどんどんやっていき失敗しながら、修正していくことも大切だと思います。また、人口の考えで言うと、釜石市に住んでいなくても、釜石に働く場があり、三陸地域全体の人口が増えていくような考えも重要です。三陸沿岸道路ができたことで移動時間も短縮できました。

久喜委員：今度の8期計画については7期計画の続きということですが、9期計画以降の計画についても総合計画と関連して進めていく必要があると思います。また、鶴住居に新しい体育館ができましたので、その体育館で介護について何かできると良いと感じました。将来を考えると、コンパクトシティ化を進めることも大切であり、現在市内にある応援センターの集約化を進める視点もあると考えます。また、全国で最近話題になっているヤングケアラーについても今後、取り組む必要があると思います。また、介護職の離職もあります。次の新しい総合計画をつくる段階では、総合計画という市全体としての計画を考えていく中で、介護についても将来を見据えて一緒に考えていく方法も良いかもしれません。

小泉議長：新しいやり方でもいいかもしれませんね。情報提供という面で言うと、総合計画もどのような内容か市民はわかっていないように思います。良い取り組みをしているのに市民には伝わっていません。もったいないように思います。もっと情報提供を上手くやるべきだと思います。

事務局：そのとおりです。市民に市の事業の説明をしていると、市では「このような取り組みをしているのか。知らなかった」ということを言われることもあります。

- 小 泉 議 長 : 情報の発信は重要です。この計画だけではなく、総合計画でも知らない人が多いです。
- 大 久 保 委 員 : 意外と介護保険料が安く済んでいると感じました。計画に記載がある 100 歳体操などはわかりやすいように思います。
- 事 務 局 : 100 歳体操は活動の広がりを見せています。
- 小 泉 議 長 : 内容がわかりやすいからだと思います。
- 栗 澤 委 員 : 100 歳体操のビデオをもっと配布できないでしょうか。自分の家でやれたら良いと思います。
- 事 務 局 : 今はコロナ禍ですが、集まって交流をするのが良いという意味もあるようです。地域包括支援センターには、100 歳体操についての今日の意見を伝えます。
- 小 泉 議 長 : 100 歳体操は 3 週間やれば維持ができるということです。
- 藤 原 委 員 : やりすぎも良くないそうです。
- 小 泉 議 長 : 「(2) その他」については何かありませんでしょうか。
- 事 務 局 : 会議録署名については、石田委員と澤田委員にお願いしたいと思います。次回の 3 回目は、来年の 2 月の下旬を予定しています。その場が計画の最終審議の場となります。本日はありがとうございました。